

あわじ島



今月の特集

販売事業 …… 2~4

淡路島たまねぎに 期待を込めて

JA AWAJISHIMA

2025(令和7年)

6

No.423

たまねぎ輸送トラックと販売担当者
(松帆集荷場)

淡路島

たまねぎに 期待を込めて

令和6年度特産事業の振り返りと 淡路島たまねぎへの期待

令和6年度は

野菜全般において相場高で推移し、特産品販売高が118億円を上回る大きな実績となりました。この背景には、気候変動による夏場の高温や病害虫の被害、さらには冬場の低温と干ばつによる野菜の生育不良が各産地で発生したことが大きな要因となりました。加えて、物流コストの上昇により遠隔地からの供給量不足が大きく影響し、全国で青果物の流通量不足が顕著となりました。また、キャベツをはじめとする葉物野菜の価格高騰がメディア等で取り上げられ、野菜の重要性が認識された反面、長期的な価格高騰が消費の減退にもつながり、安価な輸入品が量販店等で販売されるようにもなりました。

安定供給に対する契約取引の在り方など、様々な課題が浮き彫りになった年となりましたが、国産志向の高まりを見せる今こそ、生産量の維持拡大と農家所得の向上に向けて、価格形成を図っていくことが重要となります。

令和7年度の

たまねぎについては、低温と干ばつから生育遅れも見受けられましたが、適度な降雨もあり、作柄も豊作傾向となりました。これから出荷本番を迎えますが、淡路島たまねぎの需要は年々拡大してきており、年間を通じた安定供給が熱望されています。

た、相場動向についても昨年同様に販売環境は良好であり、価格形成においても産地主導型（売り手市場）の体制を構築し、有利販売に努めることで、今後も農家所得の向上を図ってまいります。引き続きご出荷いただきませうようしくお願い申し上げます。



令和6年度 特産品販売高 118億円達成 記念大会



JAあわじ島は関西有数の大産地であり、生産面積の減少が懸念されますが、面積維持に向けた取り組みを応援していきたい。

行政機関より

本年は、JAあわじ島の先人たちが大事に築き上げた伝統ある「三原営農方式」を發揮させるため、JAあわじ島の誇りと財産である営農指導に力を入れ、生産面積の復活に向けて取り組んでまいります。

全国的に高齢化による生産面積の減少が顕著であり、当産地においても、平成20年度の800万ケースから令和6年度には450万ケースまで取扱数量が減少しました。特に主力品目である結球レタスは300万ケースから123万ケースと大きく減少しました。重労働や生産コストの高騰が大きく影響していることは言うまでもなく、正に価格形成が今後の重要課題であると考え、共同撰果等の様々な施策を行ってまいります。

令和6年度特産品販売高118億円達成を記念し、4月24日にJA本所にて記念大会を開催しました。大会には、行政機関ならびに市場関係者の多くの方々をはじめ、JA全農兵庫、JAグループ兵庫5連共通会長の福本博之会長も駆けつけ、令和6年度の販売実績を振り返るとともに、野菜供給産地として、今後の取扱数量の復活に向け決意を新たにしました。令和6年度は、平成22年度の119億円に迫る14年振りの大きな実績となりました。これもひとえに、出荷いただいた生産者の皆さま一人ひとりの絶え間ない努力と、市場関係者皆さまの日々のお力添えによるものであり、深く敬意と感謝を申し上げます。

令和7年産（短期・長期）冷蔵たまねぎ出荷予約状況

短期冷蔵
57,700ケース

(令和6年産実績 39,066ケース)

令和6年産 短期冷蔵たまねぎ精算 (円)

	販売単価(税抜)	概算精算単価(税込)
2L	4,060	3,206
L	4,050	3,197
M	3,865	3,020

(出荷時計量不要)

長期冷蔵
74,410ケース

(令和6年産実績 55,574ケース)

令和6年産 長期冷蔵たまねぎ精算 (円)

	販売単価(税抜)	概算精算単価(税込)
2L	3,900	2,644
L	4,130	2,864
M	3,800	2,548

(令和6年度よりコンテナ皆掛重量22kg)

上記の表は令和6年産の販売単価および概算精算単価(税込)となります(参考)。入庫ご希望の方は6月末日まで各経済センター販売までお申し込みください。

市場関係者より

たまねぎをはじめJAあわじ島野菜は消費地にとって欠かせないものであり、消費者は待ち望んでいます。面積維持のためにも、できる限り貢献していきます。



お知らせ

令和7年産米の集荷について

令和7年産米について最低保証価格を設定し、生産者の皆さまに安心して作付けいただけるよう取り組んでいます。また、集荷対策として、主食用うるち米全品種を対象にボーナス加算の取り組みを実施いたしますので、お米の出荷はJAへよろしくご願ひいたします。

最低保証価格

コシヒカリ
1等米
11,500円(税込)

キヌヒカリ
ヒノヒカリ
きぬむすめ
1等米
11,000円(税込)

*2等米については提示価格より▲200円、3等米については提示価格より▲600円となります。
*その他一般米の最低保証価格については、コシヒカリの提示価格より▲700円となります。
*JA・MYひょうご以外は▲150円、水分過多(15.1%以上)の取扱いについては▲250円。
*8月に仮渡金を提示いたします。

ボーナス加算

対象出荷袋数に
300円(税込)／袋

- 対象品種：JA米うるち米全品種
(農産物検査で1～3等に格付けされたお米)
- 支払条件：出荷契約数量に対して**出荷実績が90%以上**となる場合。
- 加算対象：**出荷契約 比率120%までの出荷分**
(出荷契約数に対して出荷数90%以上が対象で出荷契約数の120%までボーナス加算) *詳しくは本所販売部または最寄りの各経済センター販売までお問い合わせください。



「淡路島たまねぎ」ラジオCM



消費地へ魅力をお届け

今年もおいしい淡路島たまねぎを多くの方々に食べていただくこと、ラジオでCMを放送しています。ぜひお聴きになってください。



関東

TBSラジオ (FM90.5・AM954kHz)

- スポットCM
期間：7月末まで放送中(月～日 6時～18時)

関西

ABCラジオ (AM1008kHz)

- スポットCM 期間：6月20日～7月29日

ラジオ関西 (AM558kHz・FM91.1)

- スポットCM
期間：6月20日～7月29日(月～日 6時～19時台)

MBSラジオ (AM1179kHz・FM90.6)

- 「ヤマヒロのぴかっとモーニング」
番組CM(月～金 8時～10時)
期間：7月末まで放送中



GAP部会

参加者募集

令和2年にグローバルGAPの団体認証を取得し、活動を行っております。本年も**説明会**を開催し、参加者の募集を行います。参加希望の方は**6月25日**までに営農部農政課(☎0799-42-5211)にお申し込みください。

※説明会を7月に予定しています。(申し込みのあった方には後日連絡させていただきます。)
※取扱品目は、鉄コンテナ出荷たまねぎとなっています。

～野菜『契約出荷』と『通常出荷』の二刀流～

打者と投手の二刀流として、数々の記録を打ち立てている**大谷翔平選手**。当初は二刀流など無理、『プロ』をなめるなどまで言われてきたが、圧倒的な結果を残しながら二刀流という存在を確立させた。

少し余談となったが、二刀流を野菜出荷についつい当てはめてしまう。

令和6年度の契約出荷の経過について触れてみたい。キャベツ・はくさい加工・業務用野菜については、全国的な不作により『契約不履行』の産地が続出した。あわじ島についても生育状況を鑑みて市場と当初計画より調整したが生産者、販売担当者の見込以上に生育が進まなかったこともあり、取引市場への要望に満足に答えることが出来なかった。

取引市場は、青果物は天候により出荷量がブレてしまうことは致し方ないことは分かっているが、長期間欠品により手立てしないといけない状況となり、このタイミングで『国産品』の代替えとなったのが『輸入品』、特にキャベツであった。もともと量販店等で販売されているカット野菜は『国産』のこだわりがあったが、今回、量販店においては『外国産』を利用するところが増加し、消費者への安定供給を保つために今後も輸入品を扱う可能性が高く、その分、国産品シェアの落ち込みが懸念される。

今後、この状況を打破するには、産地全体で『契約』に対しての意識を高め、『契約』をしっかりと守ること、強いては『国産』青果物販売を守ることであり、生産者の皆さまの経営を安定させることにつながると思う。『契約』は当然、守らなくてはならないことだが、以上のことを教訓とし、出荷の選択肢として『契約出荷』か『通常出荷』のいずれかを考えるべきではないか。野菜が食卓に届くまでには多くの方が関わっている。相手がいることを分かっていたいただきたい。相手を知ることは重要であり、知ろうとしない限り物事は前には進まない。

現在、契約はくさい・キャベツの出荷取りまとめを行っている。昨年は春先からずっと高単価で推移したが、現状の野菜販売価格は厳しい状況にある。これが相場と言えれば相場であるが、予測不可。相場には『まさか』がある。せっかく皆さんがこだわって栽培した野菜、皆さんも農家の『プロ』として安定した『契約出荷』か、高値相場を期待して『通常出荷』として挑戦するかを判断していただいた上で、それぞれの『二刀流』で勝負していただきたい。

産地の維持には『契約』、『通常』の二刀流を浸透させることが不可欠であると改めて感じた次第です。

かつて類を見ない大谷選手。あわじ島農協もこの二刀流を確立させたいものです。



JA AWAJISHIMA

夏季展示会



今年も各メーカーの協力により、JAあわじ島が総力を挙げて贈る大展示会を開催いたします。農機具、自動車や電化製品等の商品を幅広く展示・販売しますので、ぜひご来場ください。

日時

令和7年7月
11日(金) 9:00~17:00
12日(土) 9:00~15:00

場所

美菜恋来屋

(南あわじ市八木養宜上1408)

※詳しくは経済センター購買または農機センターまでお問い合わせください。

農業近代化資金

制度資金

農機具や軽四貨物などの購入を検討されている方へ

使いみち

- ◎農機具購入 (トラクター・コンバイン等)
- ◎軽四貨物購入
- ◎農業用倉庫 (ハウス・畜舎等) の新築、修繕等

対象者・金利

基準金利

年3.05% ※5月19日現在(固定金利)



◎よりぞう

お申込からお借入れまで
約3か月の期間が必要です。農機具等の購入をご検討の際には、お気軽に窓口にご相談ください。



◎認定農業者かつ下記のいずれかを満たす方

- ・目標地図に位置づけられた者
 - ・農地中間管理機構から農用地等を借り受けた者
- ※借入日より6年目以降の金利は0.95%~1.55%となります。

各種利子補給により最大5年間実質

年0.00%(金利負担なし)

◎借入金額100万円以上かつ下記のいずれかを満たす方

- ・認定農業者(新規就農者を含む)
- ・農業収入が直近3期200万円以上

※借入金額100万円以下の場合、または借入日より6年目以降の金利は1.80%となります。

各種利子補給により最大5年間実質

年0.80%

お知らせ

➤ JA共済ご契約者の皆様へ

より多くのご契約者様にご案内するために、今年度から「割戻金について」は、JAあわじ島ホームページに掲載しております。



農業用廃棄ビニールの回収

農業用廃棄ビニール類の廃棄処理をご希望の方は委任状の申込欄に必要事項を記入・押印の上、期日までにお申し込みください。

申込期限

令和7年6月20日(金)

回収品目

JAで購入された次の品目

- ハウス、トンネル用ビニール全般（糸入は除く）
- フィルムマルチ（紙マルチ以外）
- 各種肥料袋

回収日時・場所

(9:00~12:00)

※回収方法、回収費用負担金等については各経済センター購買までお問い合わせください。

7月	3日(木)	榎列集荷場・八木経済センター
	4日(金)	松帆経済センター・湊経済センター・津井経済センター
	7日(月)	志知経済センター・伊加利阿那賀経済センター
	8日(火)	広田経済センター・倭文経済センター・市経済センター
	9日(水)	賀集経済センター・神代経済センター
	10日(木)	阿万経済センター・北阿万経済センター・灘経済センター

広田SS

洗車機リニューアル

島内初！
防錆コート
下部浄浄
オプション付
※広田SSのみ

広田SS・本所SS同時

イベント開催!

期間 令和7年

6月14日(土)~7月25日(金)

洗車機
営業時間

本所SS 7:30~19:30

広田SS 7:00~20:00

洗車全コース 最大半額! ※オプションは対象外です。



新設された洗車機は、島内初となる塩害から車をお守りする防錆コート下部浄浄のオプション搭載

購買職員 おすすめ商品

超ひんやり 空調服

さらに背中と胸のポケットに保冷剤を入れると涼しさアップ!

暑い夏場の必須アイテム! この夏は空調服で、快適に過ごしましょう!

- 脇腹のファンから送られる風で首元や脇が涼しい!
- 座った時や背負った時も邪魔にならず快適!
- 熱中症予防に最適!

遮熱素材
使用で
-5°C!

お問い合わせ：
各経済センター購買まで

- ◆法律相談/7月2日(土)10:00~12:00 (本所) ※要予約
- ◆年金相談/6月22日(土)13:30~16:30 (本所) ※要予約
- ◆相続相談会/6月22日(土)10:00~16:00 (本所) ※要予約
- ◆休日ローン相談/毎週日曜日10:00~16:00 (本所) ※当日電話予約可

- ◆マネープラン相談/毎月第4日曜日10:00~16:00 (本所) ※要予約
- ◆ひと・いえ・くるま保障相談/6月22日(土) (本所) ※当日電話予約可
- ◆生花教室/7月10日(土)19:00~ ※6月はお休みです

見聞録

けん
ぶん
ろく

令和7年度 地区別総代会開催

5月20日から26日にかけて、管内4会場で開催された。総代総数495名のうち358名が出席。6月26日に開く第35回通常総代会に先駆け、議案説明を行うとともに、各会場では、総代の皆さまより建設的なご意見を多数賜りました。

今後とも組合員の皆さまの声を事業運営に反映させるとともに、期待に応えられるよう役員一丸となって各事業を展開してまいりますので、更なるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



緑会場



南淡会場

南あわじ市和牛改良組合通常総会

淡路和牛のさらなる発展を誓う

4月28日、「第21回南あわじ市和牛改良組合通常総会」が南あわじ市内で開催され、和牛改良組合支部長をはじめ、行政関係者、関係メーカーなど約40名が出席しました。

総会では、令和6年度の事業報告・収支決算、令和7年度の事業計画・収支予算、役員改選などが報告・承認されました。

挨拶の中で廣本組合長は、「昨年は神戸ビーフをはじめとした枝肉、その素牛となる和子牛ともに他県と比べ高値基調で取り引きされている。今後も、改良組合がより一層進歩し発展していくよう、意見を出し合い取り組んでいきたい」と述べられました。



第21回南あわじ市和牛改良組合総会
あいさつをする南あわじ市和牛改良組合 廣本組合長

令和7年度品種作型施肥防除基準説明会 安全で高品質な 野菜生産に向けて

5月1日から5月23日にかけて、各地区11会場で開催された。この説明会および相談会を開催しました。この説明会は昨年からの取り組みで、5月の種子や肥料農薬等の予約申込の折に、「販売事業年間取組計画」や「品種作型施肥防除基準」の変更点等を説明し、積極的な作付けをお願いしました。説明会には多くの生産者の皆さまにご参加いただき、品種や防除薬剤、販売方法など多様な質問が寄せられました。今年度は、このような機会を充実させ、安全で高品質な野菜を安定的に生産できるよう取り組みます。



広田会場



賀集会場

JICAスリランカ 農業・施肥の安全・適正利用促進プロジェクト

スリランカ研修員「安全な作物生産」学ぶ

5月15日、JICA（国際協力機構）からスリランカの研修員10名が来組し、「当組合の農業や肥料の安全・適正利用の促進に関する取組」について研修会を実施しました。

研修では、農業の適正使用に関する栽培暦の作成や周知方法について説明しました。また、現地視察では生産者の農業倉庫を見学し、農業の保管方法や栽培管理日誌の記帳等について説明を受けました。

今回の研修員は国を牽引するリーダーたちであり、多様な場面で心に響いており、「さまざまなアイデアが湧いてきて、非常に刺激を受けた」と感想を述べました。スリランカでの安全な作物生産が広く実施されることを期待しています。

令和7年度 淡路島たまねぎ生産出荷協議会

J Aと市場が連携強化

5月19日、JA全農兵庫主催による淡路島たまねぎ生産出荷協議会がJAあわじ島本所で開催されました。当JA、JA淡路日の出、市場関係者など40名が参集し、生育状況や出荷計画の確認、出荷期間に関する情報交換が行われました。また、他産地の動向を踏まえた販売体制の強化についても協議されました。

市場関係者からは、「量販店から『淡路島たまねぎが欲しい』との声が多く寄せられている。全力で売り込みをかけていきたい」と意気込みを語り、「現在の高品質を維持するためにも、引き続き徹底した防除と品質管理をお願いしたい」と産地へ要望がありました。原口和幸組合長は、「今こそが価格形成の正念場。生産者とのつながりを大切にしながら集荷に注力し、供給産地としての責任を果たしていく」と力強く語りました。



あいさつをするJA全農兵庫 堂本県本部長



撰果作業の見学



たまねぎ収穫圃場で記念撮影

J Aグループ兵庫 軟式野球大会

白球追いかけて奮闘

5月10日、JAグループ兵庫主催『JAグループ兵庫軟式野球大会』がグリーンヒルスタジアム（加東市）で開催され、当JAの野球部が出場しました。

チームワークを存分に発揮し、好プレーも見られ、白熱した試合を繰り広げましたが、結果は惜しくも初戦敗退に終わりました。職員同士や他JAとの交流を深める良い機会となりました。



食|農|教|育 体験して学ぶ

JAあわじ島では子どもたちに「食」と「農」の大切さを伝えるため食農教育活動を行っています。

ミカン 出前授業



5月13日 倭文小学校
倭文小学校2・3年生が山本誠二さんによる出前授業を受けました。授業では、倭文地区で120年前から続くミカン栽培の歴史や、収穫までの過程について写真を見ながら教えていただきました。また、営農指導員からミカンの種類や長持ちさせる方法などクイズ形式で学びました。さらに、山本さんが教室に持参したミカンの苗木に児童たちは実際に触れ、観察しました。今後、草ひきや摘果作業、収穫体験など年間を通じてミカンの成長過程を学ぶ予定です。

たまねぎ 収穫体験



4月28日 湊小学校
(前田 羊さん圃場)
湊小学校の3年生がたまねぎ収穫体験を行いました。児童たちは、前田さんからたまねぎの収穫方法を教わり、一斉に圃場へ入り、次々とたまねぎを収穫していきました。引き抜く事が固いたまねぎも、玉のところをしっかりと持ち、優しく引き抜くなど工夫しながら収穫をしていました。根と葉を切る作業について児童は「切るのほもつと固いと思ったけど、柔らかかった、またやってみよう」と笑顔で話しました。



ここから「接ぎ木」をしているんだよ



モンシロチョウの卵だ!



ヨイショ!



どうして淡路島のたまねぎは甘いのか?



しっかりと混ぜるぞ!!



バケツ稲 教室



5月14日 志知小学校
志知小学校5学年がバケツ稲作りを行いました。まず、営農指導員がお米についてクイズを交えながら説明し、その後、土を入れたバケツに水を張り、スコップですっきり混ぜるよう力を込めていきました。児童たちは「思ったより大変だった」と作業の難しさを感じ、「いつ芽が生えますか?」と稲の生長を楽しみにしていました。

一株の稲からどのくらいの量のお米ができるかな



武庫川女子大学たまねぎ収穫体験 淡路島たまねぎの魅力学ぶ



5月9日に武庫川女子大学食創造科学科の学生51名が淡路島の農業について学ぶとともに、たまねぎの収穫体験を行いました。

講義では南淡路農業改良普及センターの川添哲弥さんから、たまねぎの歴史や三毛作体系、淡路島たまねぎはどのように栽培されているのかを詳しく学びました。また、美菜恋来屋の榎本庄吾支配人からは、管内の産地の特徴や直売所についての説明がありました。

収穫体験では、小雨の降るあいにくの天気の中、営農指導員に教わりながら収穫を行いました。たまねぎの調理法や保存方法について質問する様子も見られ、楽しみながらも手際よく作業をしていました。参加した学生は「自分が収穫したたまねぎは愛着がわきます」、「大切に調理して食べたい」と話しました。

トライやる・ウィーク



当JA経済センターや事業所で管内中学校の「トライやる・ウィーク」の受け入れを行いました。

生徒たちは、様々な職場体験を通じて達成感や楽しさを実感し、業務に一生懸命取り組んでいました。生徒は、「たまねぎの収穫作業が一番やりがいがあった」と少し照れながらも笑顔で話しました。



たまねぎの撰果作業を体験（賀集撰果場）



トマトの収穫を行う生徒たち（アグリトマトハウス）



「淡路島たまねぎ」が積み込まれる様子

表紙説明

淡路島たまねぎの出荷が本格化を迎え、JAあわじ島では現在、京阪神・京浜・中京・北陸方面の各市場へ、1日あたり約400tを出荷しています。

今回の表紙では、市場へと向かうトラックに満載された「淡路島たまねぎ」と、販売担当職員を撮影しました。職員一人ひとりが、組合員の皆さまが安心して収穫・出荷に取り組めるよう準備を行い、日々の荷受け業務にも責任を持って対応しています。

引き続きJAあわじ島へのご出荷をよろしくお願いいたします。

（表紙左から） 鯖谷 和海・寺谷 直之・裏川 真章・岡本 仁史・眞野 壮平・山口 高広・上川 浩一・榎本 英俊

理事会だより

（5月30日開催）

議題

- 令和6年度決算書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び事業報告並びにこれらの附属明細書）及び部門別損益計算書の承認について
- 第35回通常総代会及び議決権行使書面の取扱いについて
- 支所管理規程の改正について
- 令和7年度会計監査人との監査契約の締結について
- 令和6年度兵庫県常例検査指摘事項に対する改善状況等報告について
- マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の実施状況等について
- 農産物検査業務規程の改正について

JA活動の成果

（5月末）

正組合員	5,294人
准組合員	3,897人
（単位：百万円）	
貯蓄金	207,837
貸出金	24,281
長期共済保有高	332,774
購買品供給高	795
特産品販売高	1,577
農産品販売高	108
畜産販売高	263

野菜やお米の高騰が続いていますが、非農家である私からすると、暑い中でも寒い中でも作ってくれる農家さんが居るおかげで、ありがたく購入させていただいています。がんばれ！農家さんたち！

櫻列 S・Hさん (50代 女性)

「今月のわくわく365日」は、ページをめくるのが楽しくなります。もしかしてと思うだけでも。

賀集 T・Sさん (70代 女性)

「農強」の営農指導員の方の顔が輝いているのが印象的です。日々、心からの野菜作りをされていると伺い知ることが出来ます。頑張ってください。

倭文 T・Sさん (70代 女性)

今年もたまねぎの取り入れや田植え等、忙しい日々がやってきました。機械化が進んだとはいえ人手もいります。おいしいたまねぎを届けたいです。

松帆 O・Cさん (70代 女性)

本当にそうですね、機械があっても、人手がないとなかなか作業が進まない時がありますよね。私は、たまにお手伝いすることがあるのですが「機械に使われている」ような気になります (笑)

旅行の時「どちらからですか？」と聞かれると、私は兵庫県と言わず「淡路島からです」と答えます。必ず「たまねぎの美味しい所ですね」と言われます。先日東京のタクシー運転手さんに言われました。

八木 A・Tさん (70代 女性)

すごく分かります。「淡路島」に誇りを持っているからこそ、私も「淡路島から」と答えます。「淡路島たまねぎ」のを知ってくれてありがとうございます。



園芸研究家 成松 次郎

抑制キュウリ 順々に種まきして、長い間収穫を楽しむ

露地栽培のキュウリは春に種まき(晩春に植え付け)、夏に収穫するのが一般的ですが、家庭菜園でも6、7月に種まきすれば、春まきの収穫が終わる頃から新鮮なキュウリがなり始めます。ただし、盛夏期に種まき(または植え付け)するため、高温・乾燥で発芽や活着が不良になりやすく、病害虫の発生が多い時期であること、台風や干ばつなどの気象障害を受けやすいことなどに注意が必要です。

【品種】耐暑性があり、ウイルス病などの病気に強い品種を選びましょう。「VR夏すずみ」(タキイ種苗)、「ときわ光明(こうめい)」(ときわ研究場)などが良いでしょう。

【畑の準備】種まき2週間前までに1平方m当たり苦土石灰

200gをまき、土と混ぜておきます。次に、1週間前に化成肥料(NPK各成分10%程度)200g、堆肥2、3kgを散布し、よく耕しておきます。幅約120cm、高さ約10cmの畝を作り、土壌水分が適度のときに白マルチを張ります。前作が果菜類のときは元肥をゼロでスタートし、収穫が始まった頃から追肥を開始します。

【種まき】栽植方法は2条植えでは、条間80、90cm、株間60、70cm間隔にまき穴を作り、1カ所3、4粒をまきます(図1)。育苗の場合は9cmポリポットに2、3粒の種をまき、本葉2枚程度で植え付けます。

軽く土と混合します。2回目以降は同量を畝の肩に浅く溝を作って施し、薄く土寄せします。キュウリは特に水分が必要で畑が乾いていたら必ず灌水します。

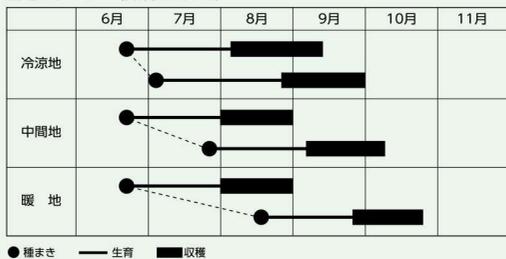
【病害虫の防除】べと病やうどんこ病は登録農薬で防除します。アブラムシには、粘着くん液剤などを散布します。

【収穫】長さ21、22cm、重さ100、120gが収穫適期ですが、小さくても「もろキュウ」として楽しめます。最盛期は朝夕2回の収穫を心がけ、また草勢が弱ったときには若取りして株の負担を減らし回復を早めましょう。

【誘引・整枝】つるが伸び出す前に長さ2m以上の支柱にキュウリネットを張り、つるをネットに誘引します(図2)。下から5、6節までの子づると雌花は、全て早めに摘み取ります。6、7節以上の子づるとは本葉2枚の上で摘み取り、親づるとは支柱の高さで摘み取ります(図3)。

【追肥・灌水(かんすい)】肥切れさせないよう2週間ごとに収穫終了前まで追肥を続けます。1回目は果実が取れ始めた頃に1平方m当たり化成肥料30g程度を株の周りに施し、

栽培カレンダー(抑制キュウリ)



JA広報通信より

図1 種まき

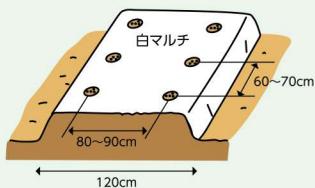


図2 支柱立て

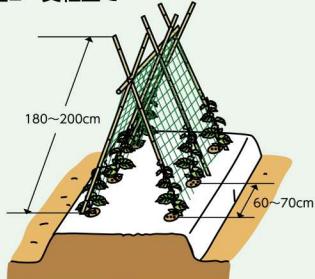
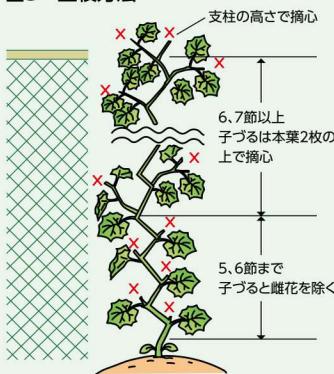


図3 整枝方法



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

毎月の「お楽しみ」

年金わくわく365 抽選結果

今月のご当選者は **12月21日** 生まれの方です

ご当選者全員にプレゼントとして、JCBギフト券5,000円分を6月末までに渉外担当者がお届けいたします。来月以降も毎月抽選を行いますので、お楽しみにしてください！

※2025年5月末時点で年金(公的年金・企業年金・農業者年金等)をJAあわじ島でお受け取りいただいている方が対象です。
※年金を2種類以上お受け取りの方のご当選は1口とさせていただきます。

年金友の会副会長 宇山昭彦様による抽選

TOURの

国内宿泊予約サイト「e-たび日和」

こちらの二次元バーコードから行先を検索してください

農協観光Nツアーコールセンター
【お問い合わせ先】 ☎086-206-1333
(営業時間 平日9:30~17:30 土・日・祝日・年末年始休み)

この記事はWEBではご覧いただけません。

JAあわじ島



「いただきます」

皆さんこんにちは！管内のあちこちでたまねぎの収穫が行われています。お便りには、農家の皆さんへの感謝や応援の言葉がよく届きます。暑さの中での作業や、雨で思うように進まず、心が折れそうになることもあると思います。私は先日、取材の際に「がんばれよ！」と言葉をいただき、大きな励みになりました。見てくれている人がいる、その実感が力になると感じました。たくさんの方が農作業を応援し、美味しい淡路島たまねぎを楽しみにしています。もちろん私もそのひとりです。

どんな場面でも、「応援」って良いですね。皆さんへの応援と感謝の言葉を繋ぎ、農家の皆さんの力となりますように。

(綾子)